

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
建築一般構造	門脇 一仁	講義	2	建築士	1,2	3	1,2,3,4
授業概要 授業目的	建築物を設計する上で、主要な骨組の設計を行う構造設計者に求められる役割は、年々重要度を増しています。当講義では、主要な骨組の構造形式や特徴、それを構成する材料について学び、建築物がどのように構成されているかを学びます。また、建築物に加わる荷重や外力がどのように作用するかを理解し、どのように設計するかを、実例を通じて学びます。						
到達目標	1級建築士、2級建築士等の資格試験における基礎知識の習得						
回	学習内容						
1	ガイダンス、アーキテクトとエンジニア						
2	近年における建築構造設計のあり方						
3	空間と構造形式						
4	構造力学の基礎知識－静定構造－						
5	建築物の荷重と外力						
6	鉄骨造①－鋼材の性質と種類－						
7	鉄骨造②－鉄骨造の特徴と代表例－						
8	鉄筋コンクリート造①－コンクリートの性質と種類－						
9	鉄筋コンクリート造②－鉄筋コンクリート造の特徴と代表例－						
10	木造－木材の性質と種類、代表例－						
11	その他の構造－免震構造、制振構造、壁式構造など－						
12	地盤・基礎構造						
13	構造計画						
14	構造設計法と構造計算の流れ						
15	構造設計者に必要なこと、講義終了後に試験						
予習内容 復習内容	予習：身近にある建築物がどのように構成されているかをよく観察するように努めること。 復習：資料の整理と専門用語の確認						
教科書	テキストは使用せず、毎回資料を配布します。参考文献は講義中に提示します。						
成績評価	試験 50%、授業ごとに提出する簡単なレポート 50%。6 回以上の欠席は、試験の受験資格無し。						
実務経験	特になし						
その他 特記事項	「構造設計」というと、どこか堅苦しく、難しい数式ばかり、という印象がありますが、そうではなく、とてもクリエイティブで楽しい分野であるということを理解して頂ければと考えています。						